

平成16年度

『救急医療功労医療機関』

として県知事より表彰



表彰状を授与される伊津野院長

発行責任者 伊津野 脩

発行者 竹内 秀樹

『救急の日』の前日である9月8日、埼玉県民健康センターに於いて救急医療優良団体等の県知事表彰式が行われました。

当院におきましては、「長年の救急医療体制ならびに白岡町消防署への救急

隊員教育研修、救急救命士就業前研修等の医療機関として…」との紹介のあとに表彰状をいただくことができました。表彰を受ける伊津野院長の横顔は、緊張と引続く責務を感じていたように伺えました。

また救急医療優良団体の部では、隣接する久喜市の久喜地区消防本部の授与がありました。

隣接市という

ことで身近に感じるとともに、これからも白岡町消防署は基より近郊の救急隊との更なる連携体制強化の重要性を改めて痛感いたしました。

前後いたしますが、表彰式当日の病院職員朝礼において、「この度の表彰は、医師・看護師他、全職員の功績である」との話が院長よりありました。

これからも病院全体として、地域医療・予防を実践するに当たり、「安全で確実なわかりやすい医療」をモットーに職員一丸となり邁進していきたいと考えます。

事務長 戸張 喜由



## 住民基本健康診査のお知らせ

お知らせ

対象者 白岡町在住の65歳以上(昭和14年4月1日以前生まれ)の方

実施日時 平成16年10月1日～11月30日の祝祭日を除く月～金

午前9時～12時・午後2時～5時

健診料 1000円

申込方法 当院健康管理課にお申込ください。(当日でも可。)

検査内容 問診・身長・体重・肥満度・血圧・尿検査(糖蛋白・潜血)・診察・肝機能(GOT/GPT / GTP)・脂質(総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール)・空腹時血糖・腎機能(クレアチニン)

心電図・眼底検査・貧血検査・ヘモグロビンA1c

検査は医師の判断により必要な方に実施。

## 大腸がん検診のお知らせ

お知らせ

対象者 白岡町在住の40歳以上(昭和40年4月1日以前生まれ)の方

健診料 500円

検査内容 免疫学的便潜血反応(2回法)

実施日時・申込方法は基本健康診査と同じ。

## 狭心症の検査と治療

運動をした時、突然胸（のど、肩、上腹部）のこともあり）に数分間の圧迫感を自覚したら、狭心症である可能性があります。

心臓に栄養を送る血管（冠動脈）のほんの25～50%ほどの狭窄度の動脈硬化が炎症を起こして破れ、血栓が形成し血管が閉塞されて、心筋梗塞になるまでにわずか3日といわれています。現在これをいち早くとらえる高感度CPRという検査方法が確立されています。現状では、たとえ人間ドックで調べても直径2～3.5mmの冠動脈がどうなっているかまでは分かりませんので、日常生活上でもわずかでも胸とその周辺に痛みがあれば、すぐに循環器科を受診する必要があります。平均死亡率が約30%の心筋梗塞を予防するためには、狭心症の段階でこれを発見、治療する必要があります。

その検査ですが、レントゲンにうつる薬（造影剤）を使い心臓の血管をつつし出す冠動脈造影検査が確実に診断を下せます。しかし、約0.1%の確率で脳梗塞が発生する危険性があります。また、これに準じた、心血流シンチという検査や、心電図をとりつつ運動負荷を行うトレッドミル検査もあります。

冠動脈が痙攣することにより起こる、血管攣縮型狭心症（異型狭心症）の場合、血管の痙攣を防止する内服薬での治療になります。

検査した結果、動脈硬化が高度なら、心臓カテーテルによる手術（PCI）になります。

また狭心症・心筋梗塞を予防するには、危険因子の喫煙、ストレスを避け、糖尿病、高血圧、高脂血症をきちんと治療すること。心筋梗塞の予防効果がある薬剤は、降圧剤のアムロジピンと、プロロカー、アスピリン、スタチン系の抗高脂血症剤があります。

内科 吉川 英俊

## 安心・快適な療養生活のお手伝い

### 『訪問看護』ご存知ですか？

近年、高齢化社会の到来と医療保険制度の改定による影響で、自宅で療養生活を送る高齢者や難病等の疾病や障害を持った方が増えてきました。このような方やそのご家族に対して、医師の指示のもとに看護師や理学療法士などが訪問し、安心して療養生活を送れるよう、専門知識を活かしたサービスを提供するのが訪問看護です。

具体的には、病状観察や療養指導、清潔・食事・排泄といった日常生活上の看護と介護方法の指導、床ずれ・胃瘻・留置カテーテル・インスリン注射等の管理および医療上の看護処置、リハビリテーション、痴呆症の看護、介護者の相談、精神的支援などです。また、最期の時を自宅で迎えたいと願う方も増え、在宅での看取りも積極的に取り組んでいます。退院時には、ご本人やご家族が、病状やこれから始まる療養生活に対して、不安に思っていることが多いため、その不安が軽減されスムーズに在宅療養

へ移行できるよう、入院中から医師や病棟スタッフと連携を図っています。

また、すでに療養生活が長い方の中には、様々な悩みを家族だけで抱え込み大変な思いをしながら在宅で過ごしている、という場合があります。

寝たきりになってしまった等、かなり重度になってから相談される方が多く、予防的な観点からも早期の訪問看護介入が望まれます。

私たち白岡訪問看護ステーションでは、ご本人・ご家族の生き方・価値観を尊重し、質の高いサービスを提供することにより、信頼される、心の通いあふ訪問看護を目指しています。小さなことでも、何かお困りのことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

白岡訪問看護ステーション 中村 由美子

## 理念

### 『安全で確実なわかりやすい医療』

#### 行動指針

- 1、 私達は、理解と同意のもとに安全で確実な医療を提供します。
- 2、 私達は、わかりやすい言葉で説明することを心がけます。
- 3、 私達は、患者さまの訴えや要望に心えるよう心がけます。
- 4、 私達は、笑顔を忘れず、優しい言葉で接し、迅速な対応に心がけます。
- 5、 私達は、保健・医療・福祉の連携を密にし、予防医学、地域の皆様の健康管理に積極的に取り組みます。